

2022年7月24日

団委員長各位
地区役員各位
県連盟役員各位

一般社団法人日本ボーイスカウト神奈川連盟
理 事 長 濱 田 雅 弘
ジャンボリー特別委員長 坂 本 健

第18回日本スカウトジャンボリー・神奈川サテライト会場 開催中止のお知らせ

日頃より 18NSJ 実行委員会へのご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、神奈川連盟及び 18NSJ 実行委員会では、今日まで大会開催に向けて準備を進めて参りましたが、昨今の爆発的な新型コロナウイルス感染拡大とそれに伴う医療体制の状況を鑑み、神奈川サテライト会場の開設を中止することといたしました。

これまで全霊を傾けて開催の準備にあたっていただいた関係各位、また多くの参加準備を進めていただいた参加者の皆さまの期待に応えられない仕儀となりましたことを誠に残念に思っております。

以下に判断の経緯と理由を記載いたしますので、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

なお、参加申し込みのスカウトは既に日本連盟に 18NSJ 参加登録を済ませていますので、日本一プログラムへの挑戦などを行い、ジャンボリー・アワードの取得まで完結となるよう活動を進めていただきます。

これまで大会開催のために多大な努力をしていただきました皆さまに心より感謝申し上げます。

この間に培われました計画や調整の実績や、全県にわたる協力は今後の神奈川連盟の大きな力になると確信しております。

ジャンボリー中止に伴い発生する多くの手続きに引き続きご支援をお願いいたします。

※代表スカウトキャンプは予定通り開催されます。

記

■7月23日現在の川崎市内の医療現場のひっ迫状況

川崎市内の病院は、病床使用率は増加しているものの空きベッドが不足しひっ迫している状況ではありません。

しかし、発熱外来は患者の急増に非常に多忙な状態であることをヒアリングしています。

また、救急車は患者を乗せても受け入れ先の病院が見つかるまで停車が必要な場合も発生しており、受け入れ先は神奈川県西部や東京都西部等、遠方の病院に救急搬送することもあるとのこと。

この状況は、コロナ感染症の対応のみならず、熱中症やその他傷病の対応にも影響を与え始めています。

■大会運営上の重大な問題点

神奈川サテライト会場では、新型コロナウイルス感染症や熱中症、その他の危険に対し様々に対策を講じてきましたが、爆発的なコロナウィルスの感染拡大に伴う医療状況のひっ迫は、突発的な病気や怪我による重篤な事案が生じた際の救急対応を困難にします。

また、発熱外来の受診が困難な状況下、通常の夏季キャンプ以上の発熱者の発生が想定される事態は、保護者引き取りを前提とする救護体制の機能を超える状況が想定されます。

私たちは近隣の医療体制に一層の負担を掛けることを避けなければならないとも考えます。

以上のとおり大会運営の大前提となる安全の確保に大きな不安を持つ状況となりました。

■神奈川サテライト会場開催中止の決定

前記の参加者の安全確保の問題について 18NSJ 実行委員会では再三の協議を重ね、特定病院との提携の協議なども行いましたが、問題解決に至りませんでした。

コロナ感染症の急速な拡大とそれに伴う医療体制のひっ迫は、われわれが準備してきました救護・安全体制が対応できないレベルになっていると判断し、神奈川県からの行動制限は発出されない状況ではありますが、7月24日の神奈川連盟臨時理事会にて開催中止を決定しました。

■参加費の返金

日本連盟大会参加費用と神奈川連盟が既に大会開催のために使用した経費を除き、返金いたします。

約 70%程度の返金を想定しています。急ぎ残務処理を進め決算内容を理事会にて確認後に返金いたします。

以上